

新入社員 入職



おおぞら病院に4月新たに、セラピスト9名、看護師5名、ケアワーカー1名のメンバーが加わりました。職員一同これからも、地域の皆様に親しまれ、信頼され、満足できる病院を目指します。

外国人技能実習生 受入



3月17日ベトナムから、初めての外国人技能実習生を2名受け入れました。お名前は、ズエンさんとリンさんです。3年間、病院にて介護業務に従事します。受入にあたって院内・院外の方々から、準備をすすめました。お二人には、前向きに明るく頑張って頂けるよう、職場でも一丸となって全力で支援を続けていきたいと思っております。

研究大会に参加しました!



岡山にて、回復期リハビリテーション病棟協会第41回研究大会が開催されました。発表・参加して学んだ事を今後のリハビリに取り入れていきたいと思っております。また自分自身発表した事で得られたこともあるので良い経験になりました。  
(作業療法士/山口 和輝)

第7回写真コンテスト開催!

今回のテーマは「春」。桜や菜の花を取り入れた、春の暖かさを感じる風景作品の応募がありました。審査の結果、応募作品の中から5作品が選ばれました。

〈最優秀賞〉友近 峻(作業療法士)

作品タイトル:ひと休み ※写真は本表紙に掲載  
「ひと休みしながら撮りました。昼休みの時間帯で、所々で宴会が開かれているのが印象的でした。」

〈優秀賞〉小池 拓郎(理学療法士)

作品タイトル:成長 ※右掲載の写真  
「一人で乗れるようになった息子をみて、うれしいようなさみしいような気持ちが晩春の桜と重なりました。」

〈佳作〉澤田 健吾(作業療法士)

〈入選〉井上 愛(医師)/友近 峻(作業療法士)



診療担当医表 (2023年4月1日~)

外来診療		月	火	水	木	金	土
一般内科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	
糖尿病	午前	吉田直彦	松田 藍	吉田直彦	松田 藍	吉田直彦	
	午後	堀 和子	吉田直彦				
呼吸器 睡眠時無呼吸症候群(SAS)	午前	刈田美夏	刈田美夏		刈田美夏		
	午後						
消化器	午前	渡邊拓郎	宮本安尚	鎌井順二	鎌井順二	吉田直彦	
	午後			宮本安尚		鎌井順二	
脳神経	午前	須賀正和		須賀正和	富田仁美	富田仁美	
	午後		富田仁美		須賀正和		
整形外科	午前	萩山吉孝	河田典久	河田典久	河田典久	萩山吉孝	
	午後	河田典久				河田典久	
乳腺 (予約制)	午前	村上朱里	青木玲奈			亀井義明11:30~	女性医師
	午後	村上朱里	青木玲奈			亀井義明	
物忘れ外来 (予約制)	午前	須賀正和		須賀正和	富田仁美		
	午後					須賀正和	

受付時間

(平日)  
8:30 ~ 12:30  
13:30 ~ 17:30  
(土曜日)  
8:30 ~ 11:30

※胃カメラは毎日行っています。  
(午前のみ)  
当日でも予約状況によりお受けできません。  
お電話でお問い合わせください。

※乳腺外来・物忘れ外来は予約必須です。

- 基本方針
1. 患者さん中心の医療 「笑顔であいさつ」を心掛け、患者さん中心の心の通った医療を行います。
  2. 質の高いチーム医療 「専門職としての知識・技術の向上」に努め、質の高いチーム医療を実践します。
  3. 地域に貢献できる医療 「ともに生きる」の精神で、地域の皆さまと安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。



【電車利用】  
●伊予鉄市内電車・城北線 堂町六丁目駅 下車徒歩5分  
●伊予鉄郊外線・高浜線 古町駅 下車徒歩10分  
【バス利用】  
●伊予鉄バス・運転免許センター線 北宮西町バス停下車 徒歩3分

愛媛県松山市六軒家町4-20  
TEL 089-989-6620

おおぞら病院



おおぞら病院ホームページ QRコード



理念

私たちは、地域の皆さまに親しまれ、信頼され、満足される病院を目指します



Vol.32 2023.05

ご自由にお持ち帰りください。

特集:そらのお仕事 地域連携室・医事課

第7回 おおぞら病院写真コンテスト(テーマ「春」) 最優秀作品賞:友近 峻(作業療法士)

新型コロナウイルス感染症は世界的なパンデミックをみせ、国内では2020年4月7日に緊急事態宣言が発出されてから約3年。5月8日に感染症法上の5類に移行し、大きな転換点を迎えています。この3年の間に、当院では院内のWiFi導入やオンライン面会の推進、スタッフ勉強会をWebやオンデマンドで自宅学習できるようにするなど、徐々にDX(デジタルトランスフォーメーション)が進み、その恩恵を得ることができました。その反面、病棟では3密回避で入院ケアや起立訓練などの集団訓練が制限され、マスク生活で表情が分かりづらくなるなど、スタッフ同士でも、患者さんとの間でも人間関係が構築しにくくなったというデメリットも感じました。最近話題のChatGPTなどAIの進歩が目覚ましく、医療業界全体でもDXが進んでいます。今後、診断や治療方針決定、リハビリでは反復訓練などで、AIやロボットの活躍が期待されています。しかしこの3年間で学んだように、医療にはDXだけでは実現できない、心の通ったコミュニケーションが非常に重要と考えます。当院のスローガンである『笑顔で挨拶』をスタッフ全員が心掛け、1人でも多くの患者さんに元氣になって頂けるよう精進して参ります。

おおぞら病院 院長 吉田 直彦



# そらのお仕事

## 地域連携室

地域連携室とは、「自院と他院・他施設、地域を繋ぐ部署」です。医療技術の高度化・細分化が進む現在、医療現場では、患者さんが自分の状態にあった治療やケアを適切に受けられるような体制づくりが求められています。

当院では、6名の医療ソーシャルワーカー(MSW)がおり、退院支援などの医療的、社会的支援が必要な場面で、患者さんを支援する役割を担っています。MSWが医療機関、介護施設、行政、福祉に関わる多くの事業所や施設を繋いでいます。

詳しくはこちら▶



笑顔と対話をモットーに  
チーム力で支援しています!



入口は左側で総合受付があります。



## 医事課

医事課は外来業務と入院業務があり、それぞれの受付と会計を行っています。

外来窓口では気持ちの良い受付と速やかな対応を心がけています。入院業務では入院中の費用がお安くなる制度のご説明などを行い、安心して入院療養ができるようご提案しております。

詳しくはこちら▶



## 地域連携室の3つの役割



在宅復帰を目標に、  
多職種による患者さん宅への  
家屋訪問も行っています。

前方  
連携



患者さんが医療機関から当院に転院する際に連携を行います。当院の特徴を説明し、転院の目的を明確にする事で、患者さん、ご家族が不安なく転院できるように努めています。

後方  
連携



患者さんの退院後の生活を過ごしやすいようにするために連携を行います。ケアマネジャーや地域の福祉施設・支援機関等とも連携し、自宅退院や施設入所など、退院後の生活の再構築をお手伝いします。

院内  
連携



医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの専門職と日々コミュニケーションを取りながら、お互いの情報共有を行っています。院外連携をスムーズに行うために、院内連携を欠かす事はできません。

## 地域包括ケアシステム時代の地域連携室の役割

地域包括ケアとは、『要介護状態になっても「可能な限り、住み慣れた地域や自宅で自分らしく生活したい」と希望する人が、必要なサービスを受けながら、在宅で自立した生活を続けられるように地域ぐるみで支えること』です。

それを実現するための「しくみ・体制」が地域包括ケアシステムです。地域連携室は、「医療」「介護」などの枠を超えた、様々な人々や施設等と連携を図っています。



患者さんやご家族の  
希望に添えるよう、  
熱い連携を行なっています!

それぞれの専門職の意見を  
まとめ、より良い支援に繋げて  
いけるように頑張っています!



医事課はプライベートでも仲良し!!  
休日も充実しています!



## 当院でもマイナンバーカードがご利用できます!!

Column

医療機関や薬局で保険証の代わりにマイナンバーカードをつかう新たな方法「マイナ受付」です。

### ポイント① より良い医療が可能に!

初めての医療機関等でも薬剤情報等の閲覧ができる機能があります。当院で処方した薬も、他院で処方した薬も全ての情報が共有でき、より適切な医療が受けられるようになります。 ※閲覧できるのは、医師・薬剤師等の有資格者のみで、ご本人の同意が必要です。

### ポイント② 窓口で限度額以上の支払いが不要になります!

高額な医療が発生する場合でも、マイナンバーカードを保険証として使うことで、ご自身で高額な医療費を一時的に自己負担したり、役所で限度額適用認定証の書類手続きをする必要がなくなります。 ※令和5年4月からは初診の人も再診の人も保険証提示より少しだけ負担額が減ります。



医事課ちょこっとメモ

桜きれいだ



業務終了後、運動のために、  
ウォーキングに行ってます!!

おいそうじ



休日にはパン屋さん巡りをしたり、  
ランチに行ったり運動したりしてます。